清掃実施要領

【日常清掃】

(1) 廊下、ホール等共用部分

- 床面清掃
 - ・自在ほうきによる掃き掃除を行う。
 - ・清水モップによる水拭きを行う。
 - ・帯電モップによる防じん作業を行う。
- 出入口ドア、マット類清掃
 - ・ガラスドア等は適正洗剤で汚れを落とし拭きあげる。
 - ・マット類はホコリを落とし、配置する。
 - ・金属部もガラスと同じ方法で行うものとする。
- くずかご清掃
 - ・内容物を取り捨てた後、容器を拭きあげて元に戻す。
- 手摺の清掃をする。
- 汚れの落ちにくいところは、洗剤等で汚れを落とす。

(2) 事務所、更衣室等

- 床面清掃
 - ・共用部分の床面清掃に準ずる。
- 畳、カーペットの部屋は、各々その材質に適した方法にて清掃する。

(3) 便所

- 床面清掃
 - ・自在ほうきによる掃き掃除をする。
 - ・清水モップによる水拭きを行う。
- くずかご清掃
 - ・内容物を取り捨てた後、容器を拭きあげて元に戻す。
- 適正な洗剤で便器や洗面台等の陶器類を清掃する。
- 鏡、金属部分を清掃する。
- トイレットペーパー、水石鹸を補充する。
- 汚物を搬出し、処理する。

(4) 湯茶室

- 床面清掃
 - ・自在ほうきによる掃き清掃を行う。
 - ・清水モップによる水拭きを行う。
- くずかご、茶がら容器清掃
 - ・内容物を取り捨てた後、容器を元に戻す。
- 流し台その周辺を清掃する。

(5) 車庫、自転車置き場、駐車場等野外

- ・チリ等の清掃
- ・庁舎周辺及び植込み付近の除草並びに落葉除去

清掃実施要領

(6) ゴミ等の処理

- ・庁舎及び敷地内から発生するゴミ等（特別管理廃棄物を除く。）を、佐賀市の指定する方法で分別し、庁舎敷地内のごみ集積所に佐賀市の処理施設に搬入できる「事業系一般廃棄物」と搬入できない「産業廃棄物」に区分して排出すること。

【定期清掃】

(1) 床面ワックス掛け

- ・くずかご、椅子等がある場合は、机、テーブルの上に上げるか、室外に出す。
- ・床面は箒又は真空掃除機でゴミ、砂を取り除く。
- ・床磨き機で隅々まで洗浄し、洗浄後の汚水を取り除く。
- ・水拭き用モップで2～3回拭き上げる。
- ・乾燥機（業務用扇風機）で充分乾燥させた後、適正なワックスの塗布を行う。
- ・ワックスは、むらが生じないように留意し塗布する。
- ・乾燥機で充分乾燥させた後、くずかご、椅子等を所定の場所に戻す。
- ・汚れが著しい箇所（200㎡程度）は、剥離剤を使用し汚れを取り除く。
- ・剥離剤を使用した箇所の仕上げは、ワックス3回塗とする。
- ・床の清掃の際に巾木の汚れも併せて取り除く。

(2) 窓ガラス清掃

- ・適正な洗剤を使用し、タオル又はスクイジーで清掃する。
- ・サッシに付着した隅々の埃も綺麗に拭き取る。

(3) ブラインド清掃

- ・やわらかい布やはたき、掃除機等を使い、羽根に付着した埃を除去する。
- ・清掃の際は羽根が傷まないよう、十分注意すること。

(4) 害虫駆除

- ・害虫が生息、発生しやすい場所を中心に罌を仕掛けるなど観測し、害虫の発生が見られた場合は、薬剤の散布を行う。
- ・薬剤は、散布対象場所や害虫の種類に応じ選定し、十分な効果を発揮できるような濃度、数量を決定すること。
- ・散布に当たっては、食器類に直接付着しないよう十分注意すること。

(5) 雨水溜桝等清掃

- ・雨水溜桝や側溝に堆積した土、落葉等を除去清掃する。
- ・グレーチング蓋は取り外し、清掃を行うこと。
- ・清掃により発生した汚泥やごみ等は、持ち帰り処分すること